

平成18年度 技能検定
2級広告美術仕上げ(広告面ペイント仕上げ作業)
実技試験問題

次に示す注意事項及び仕様に従って、広告面の仕上げ作業を行いなさい。

1 試験時間

| | |
|-------|--------|
| 標準時間 | 5時間 |
| 打切り時間 | 5時間30分 |

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「5 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給されたものに異常があれば申し出ること。
- (3) 試験開始後は、原則として支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定した以外のものは使用しないこと。
- (5) 支給材料以外の材料は、一切使用しないこと。
- (6) 「海」の方眼原寸拡大原稿を持参し、検印を受けること。
- (7) 試験中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (8) 作業を終了した場合は、その旨を技能検定委員に申し出ること。
- (9) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (10) 打切り時間になった旨を知らされた場合は、ただちに作業をやめて技能検定委員の指示に従うこと。
- (11) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (12) 試験中は、携帯電話(電卓機能の使用を含む。)等の使用を禁止とすること。

3 仕様

(1) 課題テーマについて

テーマは「水」。

水と地球の関わりを、海の存在を通して確認する政府広報形式の広告板を制作する。

この課題のねらいは、漢字の「海」をメインモチーフとし、他の画面構成のモチーフを加え、総合的に海の変化と豊かさを表現することである。

(2) 図柄について

図柄(風と雲のシンボル)は、半径310mmの円に内接するように、直接、画面にコンパスで作成する。〈別図2(P6)〉

(3) 文字・レタリングについて

イ 「水いっぱい星・青い地球」は、角太ゴシック体で、左右1030mmにタイトルとして割付図に従い、横書きにレタリングすること。

ロ 「AQUA」は、原寸原稿支給。(ヘルベチカ体、一字ずつ離れている。)

文字下辺の長さをスペーシングによって左右780mmとし、割付図に従い横書きにレタリングすること。

ハ 「海」は、縮尺正体原稿支給。(岩田母型)

縮尺原稿は正体であるが、方眼拡大によって天地650mm、左右700mmの若干平体とする。

● 方眼原寸拡大原稿を予め作成し、当日持参する。(コピー機拡大は認めない。)

ニ 「2006検定2級課題」を画面左下にゴシック体(角)で左右300mmに色彩自由でレタリングすること。

(4) 背景について

画面を次のように横の上、中、下の3つの面に区分する。

イ 上面の幅は、天地450mm。

ロ 下面の大きさ

割付図のD₁~Eの各点のカーブ上の位置は、座標x(横) y(縦)によって表し、数値はmmとする。座標の原点は、画面左下端x(0) y(0)とする。

D₁ 点… x(0) y(160)

D₂ 点… x(600) y(190)

D₃ 点… x(1300) y(100)

E 点… x(1650) y(0)

以上のD₁点からD₂ D₃点を通り、E点へ結ぶ大きなカーブをフリーハンドできれいに描き、中面と下面との境界とする。

(5) 色彩について

イ 指定色は、配付された三原色とブラックとホワイトを用いて調色すること。

ただし、A,B,C,Gの各色は色見本を配付する。(色名は仮称)

A色 グリーングレイ 「バック上面」

B色 ライトブルー 「バック中面」

C色 ブルーグレー 「バック下面」

D色 オレンジ 「AQUA」

E色 ブラック 「水いっぱいの星・青い地球」, 「海」の一部 (調色の必要なし)

F色 イエローライト 「海」の一部 (若干のホワイトを加える。)

G色 パープルグレイ 「海」の一部

●「海」の配色については、別図1(P6)参照のこと。

ロ 自由色

H色 「海」の一部 全体の調和を考えた上記以外の自由な色。

I色 「海」の一部 全体の調和を考えた上記以外の別の自由な色。

ハ 「風と雲のシンボル」の色

配付された三原色を所定の位置(1つおき)に用い、中心から外に向かってぼかし塗りすること。なお、外側は白色とすること。

また、この部分以外の3面は白色とする。

●「風と雲のシンボル」の配色については、別図2(P6)参照のこと。

(6) レイアウトの位置

基準点は、画面左辺から900mm、同上辺から150mmの交点。

<文字の位置>

イ 「水いっぱいの星・青い地球」

文字の左下端(A点)が、画面左辺から60mm、および同上辺から130mmの交点。

ロ 「AQUA」

文字の左下端(B点)が、画面左辺から50mm、および同上辺から400mmの交点。

ハ 「海」

「海」のつくり「毎」の左上先端を基準点に合わせる。

<図柄の位置>

イ 「風と雲のシンボル」

シンボルの中心(C点)は、画面の上辺から385mm、基準点から515mm。

4 文字や図柄の重なり

(1) 「AQUA」と「海」との重なりは、「AQUA」を上にする。

(2) 「海」と「風と雲のシンボル」との重なりは、「海」を上にする。

(3) バック下面と「海」の重なりは、「海」を上にする。

5 支給材料

| 品名 | 寸法又は規格 | 数量 | 備考 |
|-------------------|---------------------|-------|---------------------------------|
| 画板 | 1820×910mm 程度のもの | 1枚 | 白色で塗装仕上げしたしな合板又は合板に白加工紙をはり付けたもの |
| 合成樹脂エマルジョンペイント(白) | | 200ml | |
| ” (黒) | | 100ml | |
| ” (赤) | | 100ml | |
| ” (黄) | | 100ml | イエローライト |
| ” (青) | | 100ml | 新橋 |
| ざら紙 | | 3枚 | 下書き用 |

2級広告美術仕上げ(広告面ペイント仕上げ作業)実技試験使用工具等一覧表

1 受検者が持参するもの

| 品名 | 寸法又は規格 | 数量 | 備考 |
|-----------|-----------------|----|------------|
| スケール | 1m程度、30cm程度 | 各1 | みぞびきでも可 |
| 三角定規 | 30cm程度 | 1組 | |
| T定規 | 90cm程度 | 1 | |
| コンパス | | 適宜 | |
| 筆記用具 | 鉛筆、消しゴム、小刀、画びょう | 一式 | |
| 調色用具 | | 一式 | |
| 筆(文字、描画用) | | 一式 | みぞびき用具一式可 |
| はけ | | 一式 | 使いなれたものがよい |
| 容器 | 小かん | 適宜 | |
| ウエス | | 若干 | |
| マスキングテープ | | 適宜 | |
| 作業服等 | 作業に適したもの | 一式 | |

(注) 使用工具等は、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することはさしつかえない。

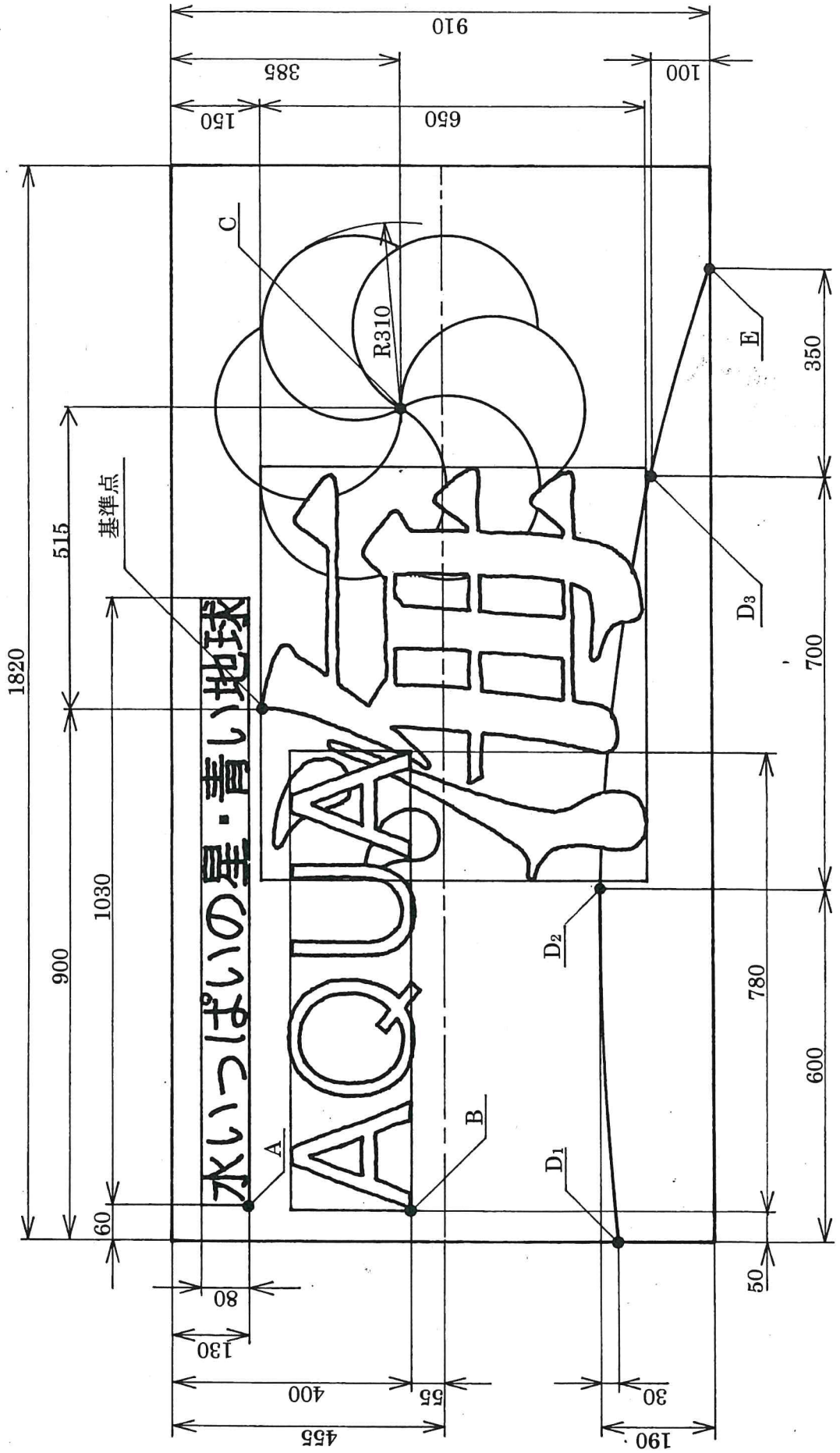
2 試験場に準備されているもの

(数量は、特にことわりのない場合は、受検者1名当たりの数量とする。)

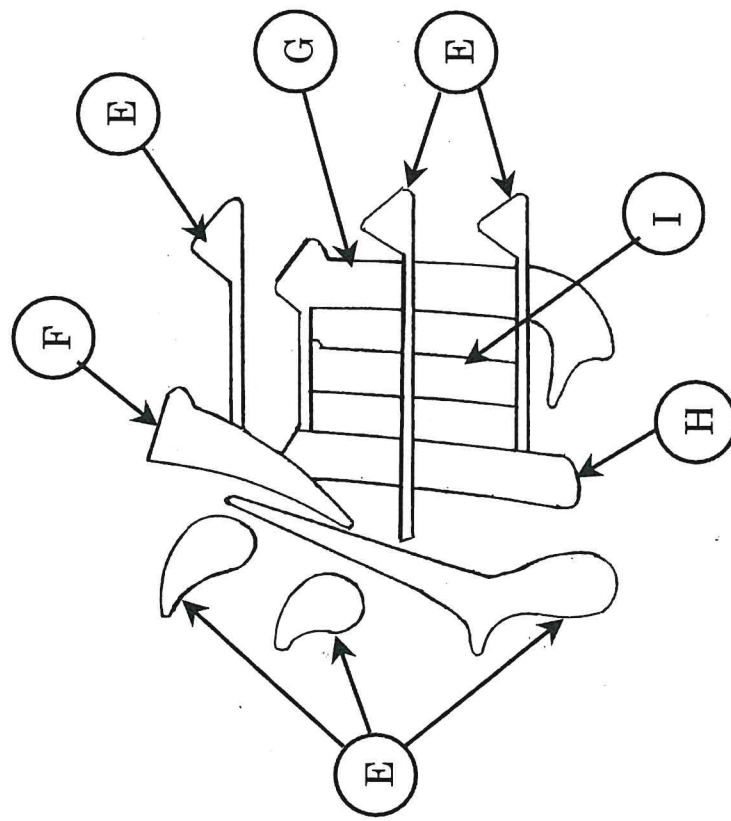
| 品名 | 寸法又は規格 | 数量 | 備考 |
|-----------|--------|----|-------------|
| 架台 | | 1 | 準備できないこともある |
| 作業台(いす付き) | | 1 | |
| バケツ | | 2 | 筆洗い用、溶解用 |
| 養生紙 | | 適宜 | |

割付図

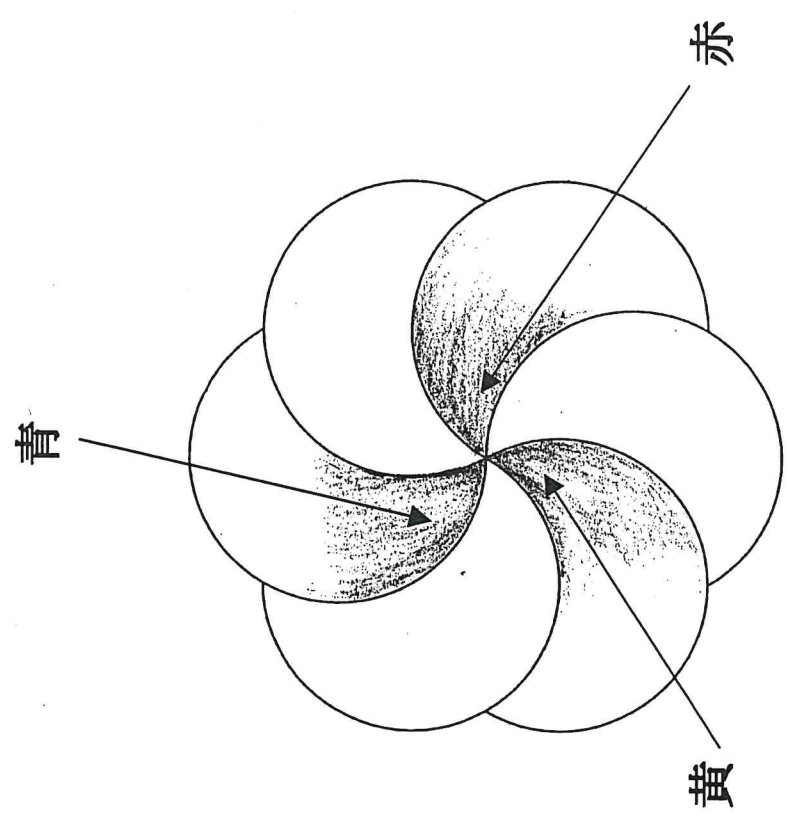
注意 書体は仕様に従うこと。



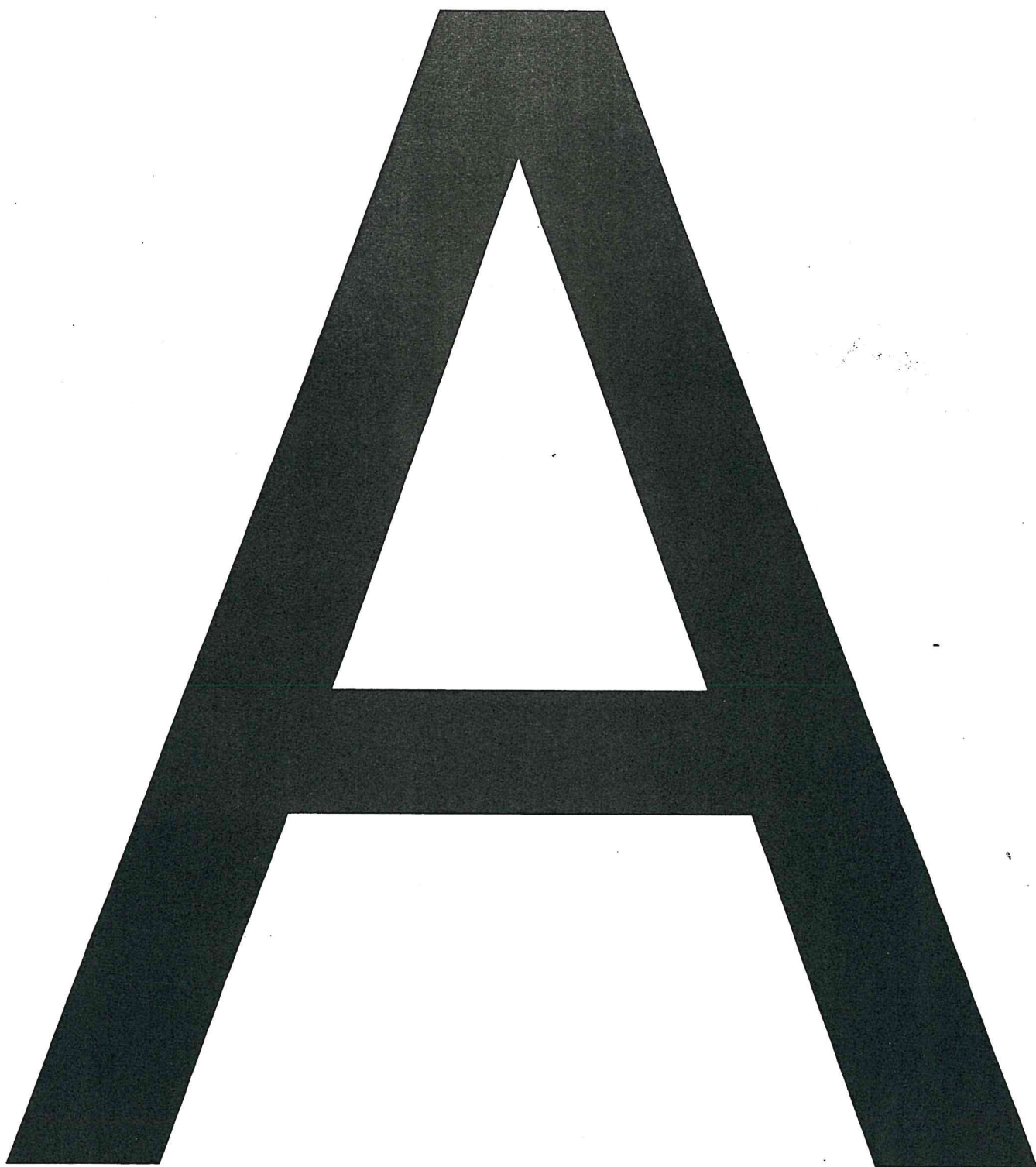
別図1

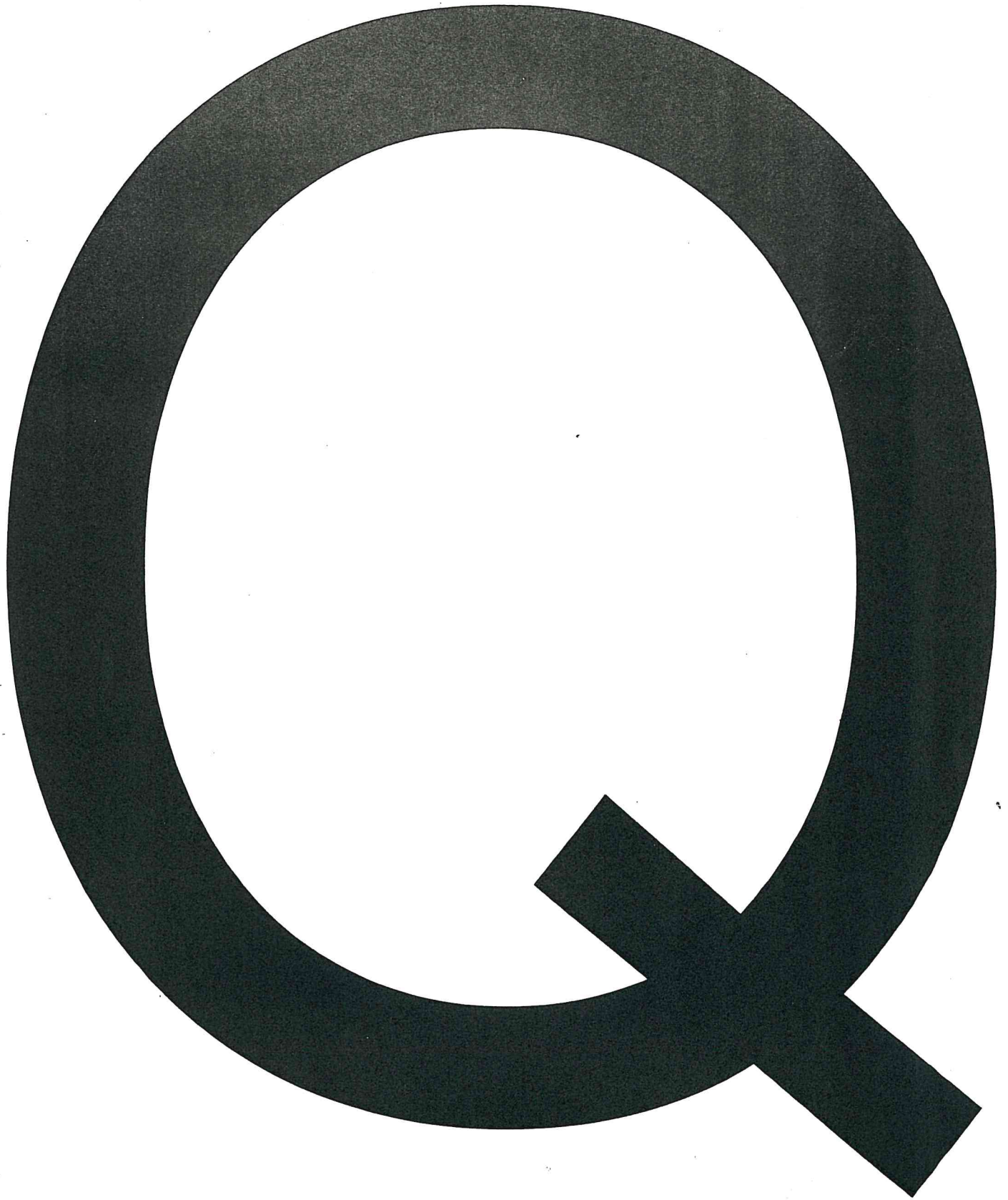


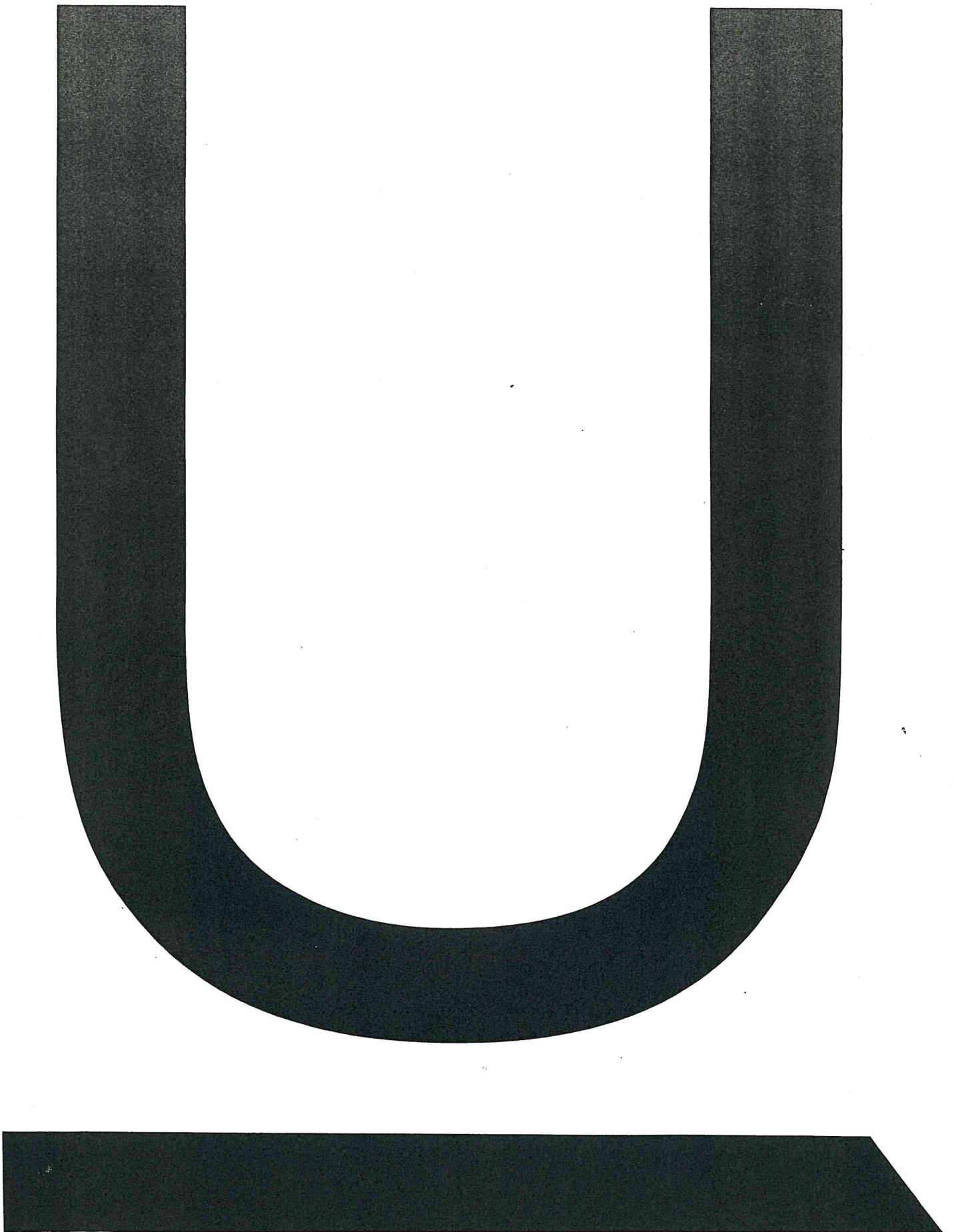
別図2

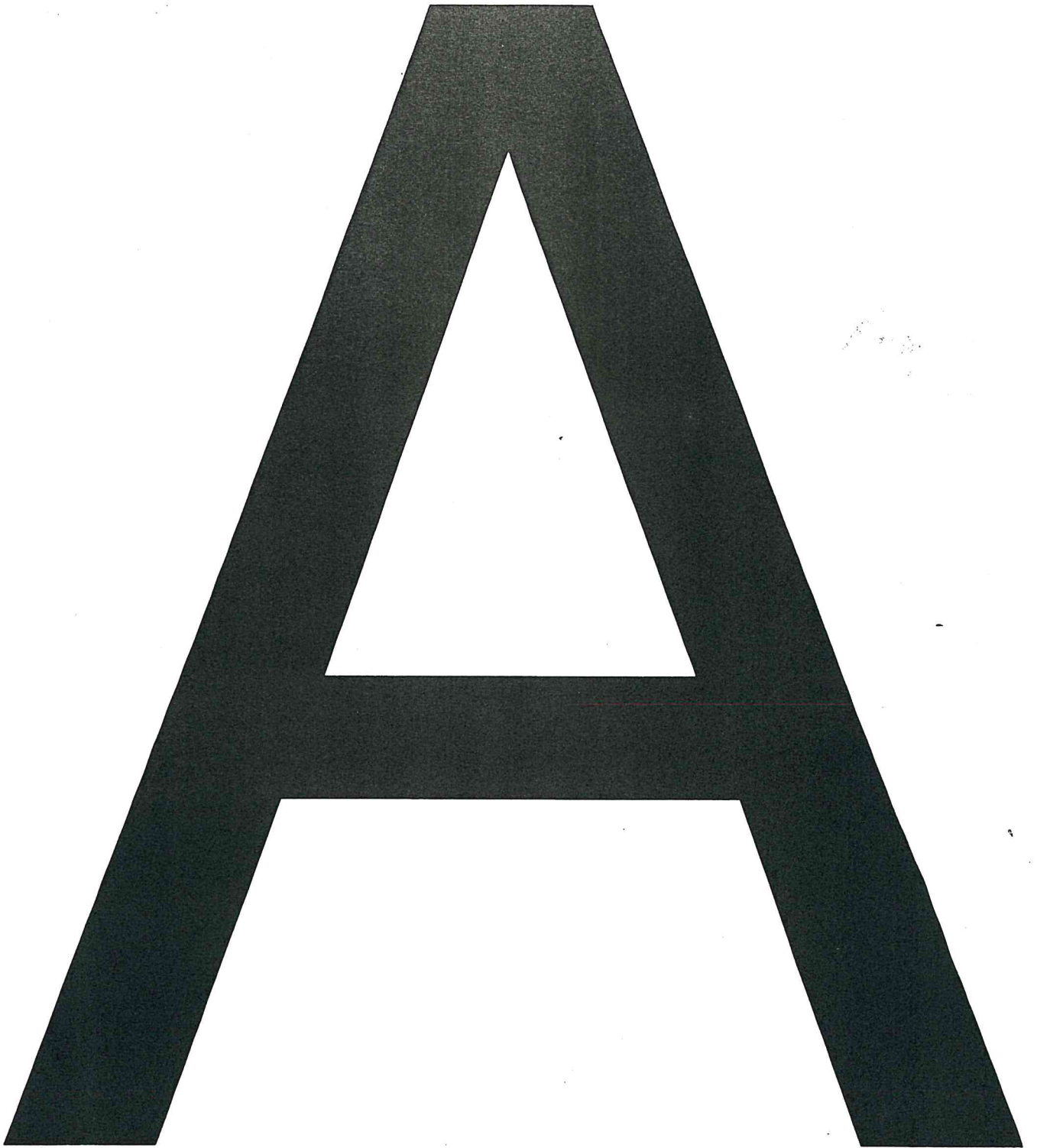


注意 中心から外にぼかすこと。









海